

## 雪上技術研修会に参加して

(報告) F 澤 (じ)

実地研修会 [第1回] 2月2日(土)～3日(日) [第2回] 2月23日(土)～24日(日)

先輩方と一緒に山行では、時々ワンポイントレッスンで実用的な知識を教えてもらいます。しかしまだまだ知っておくべきことは数知れず。今回の雪上研修会は、先輩方が改めて雪山技術を一通り伝授してくださる貴重な機会だったので、張り切って参加させていただきました。

まずは雪上歩行練習から。続いてワカンを着用しラッセルの講習。N先生談が面白い。「先頭のスピードが隊のスピード。だから先頭は最大パワーでラッセルしなければならない。先頭は長時間もたない、5分くらいの交替で行う。」ラッセル泥棒”されたら、そのパーティーとは頂上で顔合わせしても口も聞きたくない、ってなる。」あはは。実際はともしんどそうですが、一度深い雪でラッセル列車を経験してみたいです。ワカンの購入を決意しました。

そしてマルチピッチの3人パーティーシステムの講習が良い勉強になりました。トップが張ったフィックスロープを利用して、セカンドがユマール(登高器)を使って登ります。ユマールは初体験でした。エベレスト登山がこの登り方をするとのこと、なるほど。憧れのエベレスト、うーん、行くかなあー。



スタンディングアックスビレイの練習

前回習ったスタンディングアックスビレイによる確保、スノーバーを打ち込んで中間支点の作成も復習できてよかったです。2人つるべ方式(前回)と、3人以上でのユマール方式(今回)は、重要な登攀方法なので教わってありがたかったです。

そして目玉のイグルー作りは楽しかったです。まず雪ブロックの切り出しです。5m×5mくらいの広めに雪面を踏み固め、スノーソーで格子に切り分け、スコップで掘り出す。建設予定地にはスリングを使って正確な円を描く。これは強度を出すために重要、とF先生の説明に納得。中心からスリングで距離を測りながら、全員協力でどんどん雪ブロックを積み進みます。



張り切ってイグルー作り開始!

スリングの片方の端を床の中心にピッケルで

止めておいて球状に距離を測れることに感心しました。

しかしドーム状に積むのは簡単ではないことに気づきました。高くなるにつれ壁の傾きがきつくなり、積もうとしても崩れてしまいます。ドームの天井を閉じるのは不可能に思えました・・・。



が、ブロックの接触面をきれいに平らに整えたうえで押し付けると雪を接着できることを発見！こうすれば重力に負けずにドーム状に作っていただけます！おー、Eureka！謎が解けた気分でした。しかし残念ながら時間切れでした。O先生も最後まで一緒に頑張っていただき、あと1時間あれば屋根を完成できたと思うのですが・・・。

未練を残しつつ、イグルー越冬隊員3名はテント泊となりました。F先生の小田原 籠清おでんや、Oさんの手作りお好み焼き、アスパラベーコン、アタリメ炙り等々、お酒も多種いただき、良い夜となりました。

ほかにもビーコン探索は初めて経験できて大変ためになりました。それまで自分でビーコンを持っていながら試したことがありませんでしたが、よく理解できました。



青空を見上げて、あー完成させたかった・・・涙

この度は大変有意義な研修会を計画・準備し、分かりやすくご指導くださったO先生、F先生をはじめ、先輩の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。入会間もないKさん、Iさん、Oさんとも、ご一緒できて楽しかったです。P.S. 自分のスノーソーが欲しくなりました。



歩きスマホ、ポケモンGO？ いいえ、ビーコン探索の練習です

(了)